

令和二年のサークル活動総括

カラオケつた会



マスク着用で楽しむカラオケ

新型コロナウイルス感染症の流行が、令和二年のサークル活動に大きな影響を与えました。特にカラオケつた会では、マスク着用による音の減衰や、換気による音の漏れなどが課題となりました。しかし、メンバーの創意工夫で、マイクを複数台設置したり、部屋のドアを閉めたりすることで、音の漏れを最小限に抑え、楽しく活動することができました。また、オンラインでのカラオケも試みましたが、やはりリアルな雰囲気は味わえません。今後の活動では、引き続き感染対策を徹底し、安全に活動できるように努めます。



ノイシュバンシュタイン城（ドイツ）

インターネット世界旅行の七回は、スエーデンが二回、チェコが二回、ドイツが三回でした。スエーデンの首都ストックホルム、ノルベールの美しい水辺の景観、デンマークの美しい水辺の景観、フィンランドの美しい水辺の景観、アイスランドの美しい水辺の景観、オーストリアの美しい水辺の景観、フランスの美しい水辺の景観、イタリアの美しい水辺の景観、スペインの美しい水辺の景観、ポルトガルの美しい水辺の景観、ギリシャの美しい水辺の景観、トルコの美しい水辺の景観、インドの美しい水辺の景観、中国の美しい水辺の景観、日本の美しい水辺の景観、世界の美しい水辺の景観を堪能しました。

新聞記事を読む会

七回会を開くことができて、新聞記事を読むことができました。新聞記事を読むことは、社会の動向を知ることができ、自分の生活に役立つ情報を得ることができます。また、新聞記事を読むことは、自分の知識を深め、自分の視野を広げることができます。新聞記事を読むことは、自分の成長につながる大切な活動です。今後の活動では、新聞記事を読む会を継続し、メンバーの知識を深め、自分の視野を広げることができるよう努めます。

2020年12月の主な記事 (福井新聞より)

- ・ コロナ関係
 - ・ コロナ対策予算5兆円、海外でワクチン接種開始、感染力1.7倍
 - ・ インフルエンザ感染激減、自費PCR検査、国内接種優先は、医師
- ・ GO TO関係
 - ・ 芦原温泉1.3万人キャンセル、全国知事会まとまらず
- ・ はやぶさ2号の快挙
 - ・ 小惑星の石を持ち帰る
- ・ 洋上風力発電、環境問題
 - ・ 狐火計画と、福島沖の失敗報告、炭酸ガスの貯留や応用
- ・ 原発関係
 - ・ 設置許可取り消し判決、関電大打撃、規制委員会反論
 - ・ 使用済み燃料の中間貯蔵所を関電も利用、福井県の後継者の条件
 - ・ トリチウム汚染水の廃棄 IAEAが監視に協力
- ・ E V か、H V か。
 - ・ トヨタ社長 全面E V化に苦言

映画観賞会

当会は、九回の映画を上映できました。上映した映画は、「麗しき日々」「カルメン」「恐怖の報酬」「日は昇る」「毒薬と老場」「シヤレード」「野菊の如き君なりき」「終着駅」「山の音」でした。これまでは、懐かしい洋画の上映だけでしたが、邦画も見たという意見がありましたので、ネット配信（契約）を使って、月二回の開催とし、洋画と邦画を交互に上映することにしました。上映映画については、あらかじめ主宰者が決めておくことを改め、上映当日に六つほどの候補の中から、参加者の希望のものを上映することにしています。



野菊の如き君なりき

気軽に話せる場所

昨年はコロナの中でも参加して頂き、その中でも過ごし方を話して頂きました。又、家族交流の楽しい話、困った事等を話し意見を話し合いました。又、人生経験豊富な方のお話も考え深いものがあり、たいへん勉強になりました。話して頂き良かったです。今年も、ここに来れば元気が出る、笑える、そんな簡単な事が出来る場所にしたいですね。ここで話す事で、いきいきと沢山の幸せが皆さんに広がりますように、人との関わりを大切にしていききたいです。



気軽に話せる会の様子

風力発電は、主力発電になりうるか？



講演のタイトルの一例

易しい科学の話
当会の活動休止期間を
除いて、八回開催するこ
とができた。また、お話し
して、どんな星は、太陽の
りどの科学？最新のドク
の応用？「最新ドク
とは？」「リニア新幹線、ク
電はAIとは？」「風力発
か？」「2020年のうら
ベル？」「2020年のうら
す「化学賞」ケム編集の
プロでは、講師が内容を
な「資料も配布しました。
科「資料も配布しました。
思「それ、私も配布しまし
が「それ、私も配布しまし
せん。みんな、楽しまし
論「みんな、楽しまし
な「みんな、楽しまし
討「みんな、楽しまし
会「みんな、楽しまし
料「みんな、楽しまし
を「みんな、楽しまし
掲「みんな、楽しまし
載「みんな、楽しまし
し「みんな、楽しまし
て「みんな、楽しまし
い「みんな、楽しまし
ま「みんな、楽しまし
す「みんな、楽しまし
を「みんな、楽しまし
資「みんな、楽しまし
全「みんな、楽しまし
資「みんな、楽しまし

易しい科学の話

川柳同好会



毎月第三土曜日に開催
してあります。私たちが
川柳同好会は、昨年の十
二月で六十二回目を迎え
ることができました。
毎回の発表に続いて、質
作品の発表に続いて、質
問あり、鋭いツッコミあ
り、駄洒落あり、賞賛あ
り等、和気あいあいの時
間を共有できる楽しいサ
クルです。作品の上手下
手は二の次です。何より
も「参加してよかった。
来月も参加しよう」と思
ていた、ことをモットー
とした、楽しく、明るい
と気の同好会でもありま
す。現在の会員は十八名で
す。興味のある方、時間
のある方は、川柳同好会
を一度覗いてみて下さい。
お待ちしております。

うたのサロン



昨年六月より毎月第三
水曜日に開いています。
歌の楽しみ方にはいろいろ
ろあり、生のピアノ伴奏
でみんなで歌う形で行っ
ています。
曲はリクエスト曲を中
心に季節の歌など毎回十
五曲前後です。オリジナル
私（辻）の歌とオカリナ
披露もあります。歌いや
披露もありません。歌い
すくする為、キーの高さ、
伴奏法を工夫し、歌いま
つわるエピソードもお話
していきます。ピアノもお
の姉、司会の私、パノ伴奏
の姉、司会の私、パノ伴奏
ン操作の姉、音大卒の姉
妹三人でお届けしたいま
す。若かった頃、いま
たかいた曲が、あんなに
りました。曲が、あんなに
て一緒に歌うと、一体感が
生まれ心が和むのです。

卓球サークル



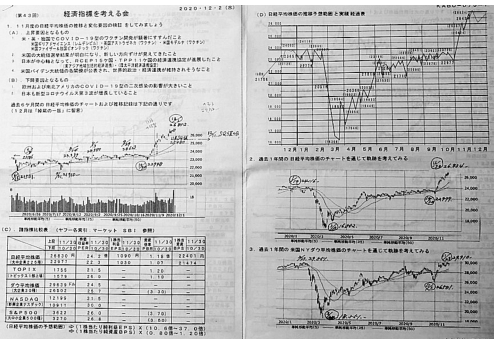
平成二十六年七月に卓
球サークルが発足してか
ら早や六年が過ぎました。
最初は僅か九名でしたが
今では月四回、各回三十
名近くの参加者で賑わっ
ています。
昨年は新型コロナ禍の
影響で三月から四か月の
活動再開後も再度九月
に活動再開後も再度九月
に活動再開後も再度九月
ました。十月以後活動は、
検温、手指の消毒のほか、
終了後には全卓球台も消
毒して片づけるなど徹底
していきます。早くコロナ
が終息し、安心して高齡
者の健康維持に役立つ卓
球ができることを願うば
かりです。なお、昨年も、
事故なく終えられたこと
はよかったです。

スマホ勉強会



ガラケーと言われる携帯
電話は、高齢者にとつて
も使いやすく、画期的だ
と喜んで、世の中はすい
しかし、世の中はすい
ガラケーからスマホに変わ
ている。スマホの画面は
大きく、画像や動画が見
られるように。LINEを見
るN.Eを使えば、グルー
を作って情報交換が簡単
にでき、相手の顔を見な
がらのテレビ電話も簡単
支払いも可能だ。
スマホ勉強会は、アイ
ホンとアンドロイドとい
う二つの機種について、そ
れぞれ使い方を指導して
きた。この会に参加すれ
ば、この会に参加すれ
ば、この会に参加すれ
ら携わることができるよう
になるでしょう。

経済指標を考える会



昨年、新型コロナウイルスによるパンデミックで、日経平均株価は、Nダウ平均株価は、ともに一旦は大きく値を下げた。だが、政府が大規模な経済対策として、日銀による金融緩和を図った結果、状況が一転し、年末にかけてはバブル崩壊後の最大の高値になっている。

今後は、米国ではトランプ政権からバイデン政権に変わり、中国では習近平主席が世界の貿易関連協定にどこまでかまわず進出を試みていくこと、新型コロナウイルス関連株の投資が活発なことなど、株価を左右する要因が多い。高齢の会員が多いが、増加にも注目していきたい。

私の健康法



昨年はコロナ禍の中で三月から六月まで休会しましたが、十二月には通算で二十四回を数えました。

第三週（あるいは第四週）の土曜日十時から開始し、

- ① 健康体操、
- ② 健康に関する経験談、
- ③ 脳トレ
- ④ 健康に関する話題提供で構成されています。

身体も気持ちも活性化させて、コロナ禍に負けないように過ごしましょう。

なお、中心的役割を担われた濱本たけ子さんが十二月にお亡くなりになりました。心より哀悼の意を表します。

合唱サークル



平成三十年四月、合唱サークルは参加者二十六名でスタートしました。その折は、まだ伴奏者が見つからず、歌集を作り、CD、アカペラで唄っていました。

翌年の四月には、一年記念として橋本晴美先生をお招きし、「昭和の歌を歌いましょう」を実現、また野坂先生のご好意により「歌声広場」も開催できました。また、令和元年十一月には、「福井県シニアチャレンジャー」による活動の支援をいただき、キーボードや歌本も購入できました。

昨年は、新型コロナウイルスの感染防止のため、マスクをし、三蜜を避けながら、合唱を楽しんでいます。

囲碁将棋の会



新型コロナウイルス感染防止のため、三月から六月まで活動を停止し、七月、八月はマスク着用、消毒を徹底して活動できました。九月には再度休止、十月からはさらに感染防止を徹底しました。

このサークルは当初は小人数で始めましたが、今は二十五名がメンバーになっています。大方は囲碁を打ちますが、将棋も指すのは四名です。時には飛び入り参加者もあられます。延べ参加者は二百四十名、皆さん和気あいあいの雰囲気です。

棋を楽しんでいます。将棋は月四回、毎週木曜日開催です。棋力がたくさんあることを歓迎、仲間が多くなることを願っています。

健康麻雀



昨年は、コロナの影響で、三月と七月と九月の六ヶ月は休止となり、活動は六ヶ月だけになりました。

は、換気、検温、消毒、マスク着用等コロナ対策を十分行いましたので、期間中に感染者は出ませんでした。

六ヶ月の参加人数は、千四百十三人で前年度の三分の一でした。活動した月に限りませんが、月当たりの参加者は二百三十人で、一日平均四折卓稼働したことになりました。

今年に入り、大雪などで参加者が減っています。頭の体操になる健康麻雀を、多くの会員に楽しんでもらいたいと思います。世話人一同鋭意取り組み組んでゆく予定です。

短歌の会

十一月六日から始まった本会では、参加者が詠んだ歌を、素人・玄人を問わず全員が対等・平等に、和氣藹々と吟味します。

真に残念なことに、第一回に作歌された濱本さんが十二月十二日にお亡くなりになりました。濱本さんの遺作と、濱本さんを偲んで詠われた澤村さんの歌を併載しました。

小春日に
枯れ草啞え忙しく
夫婦すずめが
冬じたくか
濱本たけ子

体操の掛け声のごと
君遊さぬ
一二付け記して
澤村 玲子

よろず討論会

平成二十七年五月に第一回討論会を実施してから、コロナ禍で令和二年三月、四月と中止はしたものの、令和三年十二月には第六十五回を数え、いまは第六十六回の準備中。この「よろず討論会」は、日本の良さを「腰痛の対処法」「医療・介護保険料の高騰と年金の減額問題」「テレビが今日の社会問題に及ぼす影

響一など、我々に身近な問題、今日の問題の中、取り上げてきており、時として専門家を呼んだり、若者の結婚問題では、福井大学学生と議論した。りもしています。最近では「八十・五十年問題」「地球温暖化を防ぐ自然エネルギーの活用」「大統領としてトランプ大統領に對する期待と不安」「コロナとの共存法」などのテーマで議論したりもしています。

卓話を聞く会

令和元年八月に始めた「卓話を聞く会」はその後十二名のテークルスピーチがあつて参加者の関心も高く順調に推移して、たが、心ならずもコロナ禍により一旦中止の止むなきに。令和二年十月からは、世話役が吉岡副会長から大野事務局長に代わって継続しています。再開後は羽川裕美子、大谷一郎、橋本小夜子、林幸男、中西エミ子、大野勉、各氏が質問の時間も含め、一人約三十分の持ち時間で運営しています。「卓話」とは「テーブルスピーチ」の意で、ルス合での短い話」として、皆さんもこぞつて気軽に参加して頂きたいと思つていきます。

芸能クラブ

当クラブは発足後三年を経過しましたが、この間、県内各地の公民館や高齢者施設で通算五十回の公演を重ねました。昨年も、林座長を中心として、更なる飛躍を目指して、タートン新型コロナウイルスの感染拡大で、全国に緊急事態宣言が発出され、特に舞台公演やライブ活動はクラスターの発生源だと指弾され、プロ・アマを問わず芸能界は活動停止を余儀なくされました。当クラブの劇団幸齢者も、半年以上活動を停止しました。が、公演は十二月に春山公民館で行った一回だけで済んだ。今年も状況が改善されることを願うばかりです。



春山公民館での公演

音楽鑑賞会

平成二十七年四月に音楽鑑賞会はスタートしました。が、昨年末には六十回目を開催できませんでした。レコードや、CDは、主宰者が選ぶほか、参加者からも提供していただき、毎回前半にクラシック、後半にポピュラー、ジャズ、邦楽などを聴いています。邦楽は、折に触れ、クラシックは、折に触れ、コンサート、二胡の演奏会なども開催しています。昨年十二月はベートーベン生誕二百五十年を記念し、「月光の曲」、「交響曲第九番の第四楽章 歓喜の歌」を聴き、感動しました。言葉で通じ合うことができなくても、音楽で通じ合うことができれば最高です。

手作りの会

世話役の奥島氏のビル1階で、ビーズやレース、クラフトなど作ったり、ザゲストを招いて音楽を聴いたりしています。

歴史を楽しむ会

当サークルは以下に示す八回の講演を行いました。「越前の石徹白騷動」「日本の名城を訪ねる歴史

予備例会

史「豪商橋屋と歌人橘曙覧について」「日本語の歴史」「日本人とこめ、なぜそんなにこだわったのか」「古代史最大の謎、前方後円墳」「西山光昭寺と香林坊物語」。以上です。講師の方々の充電のため、今年はいしばらくの間休会といたします。

当会の規約には、月一回の「例会」を開催することになっていきます。発足時から昨年の二月まで、アオッサの七階の会議室を会場として毎月約八十名の会員が参加し、八十六回の例会を重ねてきました。ところが新型コロナウイルスのため、いつもの会場で多人数の会合が許可されなくなつてしまいました。そこで、再開が可能になるまで、参加人数を制限し、アオッサの市の会議室で「予備例会」として講演会を実施することにしました。九月から十二月まで四人の方々に、サブリメントの話、笑いヨガの実践、蓮如上人のお通り、親鸞の話をしていただき、は、本来の「例会」に戻すことが決定しています。